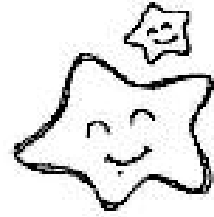


QSK にぬふあぶし

No.323

ね
子の方向の星(北極星)



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

毎年当たり前のように新年の挨拶を交わしているのではありませんが、歳を重ねるごとに、新しい年を迎えることができるのが当たり前ではなく、家族や親せき縁者、そして日ごろ関わる多くの皆様の支えによって生かされていることの不思議を感じつつ、感謝の日々を過ごしております。

振り返ると様々な恩人、友人、知人を見送るこの世での別離を経験しているわけですが、決して年齢順というわけではないとは言え、以前ならとっくに見送られていたような年齢にそろそろ自分も差し掛かっていると思えば、そのように与えられている命を生きることができると慶びを共に分かち合いたいものと思います。

例年のことながら、旧年中も、家族会会員の皆様、支援者、事業所利用者、職員の皆様、その他の多くの関係の皆様にも沖福連への多大なご支援、ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

コロナ渦で制限を余儀なくされていた活動が少しずつではあっても再開されつつあることは、多くの困難を抱えながらも、それでも一人も取り残すことのないように、周りの人たちと共に生きていく喜びを分かち合える機会が増えることをうれしく思います。

全国的にも会員の高齢化や会員減少による会の存続や運営の困難さが言われています。家族会の必要性を認めながらも、時間的に、経済的に、距離的に実際の活動への参加が困難な方も多く、そのような中でも、今後の活動の中で家族会のあり方を話し合い、困難を抱える当事者、家族の必要にどのように応えていくかを考えていくことが求められています。

新年も皆様のご支援を賜りますようお願いする次第です。今後ともよろしく願いいたします。



2024年1月1日
公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会 会長 山田圭吾

第15回全国精神保健福祉家族大会(埼玉大会)に参加して

報告者:瀬良垣りんじろう

私は、今回が初めての全国大会参加でした。全国をまとめる「みんなねっと」の組織の役割と活動内容を知りたいと思っていたので今回の参加は色々と学ぶことができました。

大会一日目、開会式で登壇している来賓の肩書が、国会議員、地方議員、知事、市長等であり、在籍政党もさまざまでした。

「みんなねっと」は精神保健医療福祉諸施策の改革を見据え「みんなねっと提言」を発表しており、この提言を実施するには、各議員の協力が必要で、関係議員との連携が重要になります。「みんなねっと」は会員の声を取りまとめ、提言書を作り、議員を通じ条例や法律等の制定を目指し住みよい社会作りに取り組んでいる組織だと知りました。

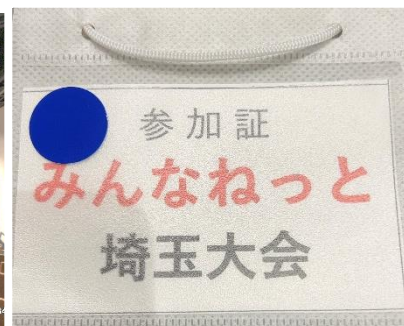
大会二日目は分科会「自立の多様性を考える」に参加し、発言も行いました(緊張と訛りで発言の真意が伝わりませんでした)。)

「みんなねっと」の課題もありました。

会員の数が減少していることです。

統合失調症での病院外来者数は近年横ばいにも係わらず、家族会の会員が減少していることの原因を考える必要性を感じました。

沖縄から、埼玉大会に参加した皆さん、大変お疲れ様でした。



『心の輪を広げる体験作文』、てるしのから2年連続で入賞者！

『心の輪を広げる体験作文』と『障害者週間のポスター』全国募集において、昨年度に引き続き、今年度も両部門で沖縄県からの入賞者がありました。

ポスターでは糸満市の高橋さんが中学生区分の優秀賞、そして作文では那覇市の新城元美さんが一般区分で佳作入賞を果たしています！

新城さんは就労支援事業所「てるしのワークセンター」を利用して、てるしのとしても昨年の銘苅さんから2年続けての入賞者輩出。また、きっと覚えている方も少なくないと思いますが(本紙320号参照)、新城さんは今年度『タウ・パラリンアートコンテスト』でも入賞し、さらに『第17回 雇用・就労支援フォーラム』での絵画コンテストでも優秀賞を獲得しています。絵画に文章にと素晴らしい才能を発揮した2023年。

新しい2024年も、また新城さんらしい活躍を楽しみにしています！

そして銘苅さん、新城さんに続く作文の書き手が現れることにも期待しています！



新城さんは、「てるしのワークセンター」で紅型雑貨を作成する“染めんちゅ”のひとりでもあります。どうぞ、ひとりひとりの個性を手にとってお楽しみください。



【寄付金／賛助会員加入のお願い】

沖福連では、精神保健福祉に関する知識や考え方の普及啓発、また福祉サービス事業などを通して、誰にとっても生きやすい社会づくりに取り組んでいます。

当会の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口：2千円 / 団体・法人1口：1万円

琉球銀行：南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ：02020-0-37037 (加入者名：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会)

※沖福連ホームページからクレジットカード決済もできます。

～ふれあいプラザ宮古だより～

活動、ととのう。

2023年は、何につけても「4年ぶりの…」で語られるイベントが盛沢山でしたね。

催

宮古では、ふれあいプラザ主催のソフトバレー大会を6月に開催。全8チーム約90人が参加しました。

プラザチームは、来るはずの選手がいないというハプニング!! しかしそこは地活の強み。応援で駆け付けた就労メンバーが急きょ選手として大活躍!

その結果…なんと優勝してしまいました。

普段からのコミュニケーションが活きましたね☆



月間の行事では、ずっと要望のあった『図書館ツアー』を始めました。休日の読書や趣味の編み物の教材にと、ニーズの高い活動となっています。

『文化作品展』に出品するための合同作品作りでも「宮古産100%の草木染め」を実現するべく、図書館通い。酸やアルカリ・鉄や銅の媒染など実験のような工程を経て、昨年と同じく布マスクを使った草木染めドレスが完成! ウォーキングや近所の雑草から集めた草花で約50種類の色合いを醸し出すことができました。

創



集



11月3日(祝)には宮古島市障がい者スポーツ大会が通常規模で開催。多くの事業所と島内・多良間から中高生のボランティア学生も参加。

競技以外でも久々に友人や支援員との交流を楽しまれ、一同に集うイベントの大切さ感じました。

社会に賑やかさが戻った2023年でしたが、2024年は更に地域福祉の向上に貢献できるプラザ活動を「ととのえ」たい。



【ふれあいプラザ宮古】

VOLLEY BALL TOURNAMENT

沖縄県

精神障がい者



バレーボール大会

2024

2024年

1/16・17・18

Tue

Wed

Thu

1/16

Tue

1/17

Wed

1/18

Thu

予選リーグ

決勝トーナメント

会場

那覇市民体育館

(那覇市字識名1227番地)

【主催】



特定非営利活動(NPO)法人

沖縄県障がい者スポーツ協会
Adapted Sports Association

【後援】 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

【協力】 一般社団法人 沖縄県作業療法士会

沖縄県ソフトバレーボール連盟

沖縄県バリアフリーバレーボール協会

【お問い合わせ】 沖縄県障がい者スポーツ協会

TEL: 098-880-2459 FAX: 098-987-0819

E-mail: opsa@shospo.okinawa



みんなねっと九州・沖縄ブロック家族会研修会 かごしま大会

『語り合い 学び合い 支え合い そして働きかけます』

期 日	2024年2月8日(木)・9日(金)
場 所	アートホテル鹿児島(鹿児島市鴨池新町22-1)
参加費	一般:1,500円 家族会員:1,000円 当事者・学生:500円 他

- 2月8日 ① 基調講演『スポーツがもたらす 心の病をはね返す力』
(12:20~ (講師:大阪府 新阿武山病院 岡村武彦院長)
16:30) ② 特別報告『イタリア地域精神医療から見た日本の精神医療』
(講師:鹿児島市 ラグーナ診療所 森越まや所長)
③ みんなねっと活動報告(岡田久実子理事長)
※1日目終了後、親睦交流会(参加の場合:6,500円)

- 2月9日 研修講演『共生社会における教育の役割』
(10:00~ (講師:鹿児島大学・大学院教育学研究学科 橋口知教授)
12:00) ※オンライン配信も予定しています。

主催:公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
特定非営利活動法人 鹿児島県精神保健福祉会連合会(NPO法人かせいれん)

詳細お問い合わせ:

みんなねっと九州・沖縄大会鹿児島大会事務局(事務局長:小蓬原[こふつはら]さん)
電話・FAX:0994-63-8855 メール:rupinas_honbu@po5.synapse.ne.jp

◎編集後記◎

『A Space for the Unbound 心に咲く花』は、インドネシアのゲームスタジオが作ったインディーゲーム。90年代のインドネシアの田舎町を舞台にした小さな青春物語で、高校生の主人公たちは人の心にダイブできる不思議な力を持つことになる。

正直ふだんあまり思い描いたこともなかったインドネシアという国の暮らしの一端に触れることができ、物語を終える頃にはずいぶん身近に感じることもできるようになっていた。また反対に、作中では過去の日本の名作ゲームからの引用も多分にされており、娯楽や文化がいかに私たちの相互理解や平和にも貢献するかをあらためて強く感じた。(増山)

編集:公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1
電話098-889-4011 FAX098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行:九州障害者定期刊物協会
〒812-0068
福岡市東区社領1丁目12番4号
電話092-753-9722 FAX092-753-9723
定価:10円(会費に含まれる)